
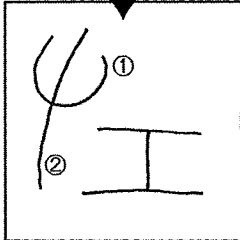


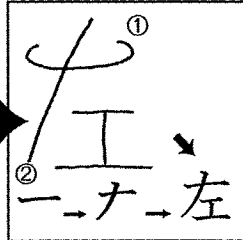
会意

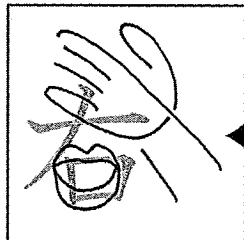


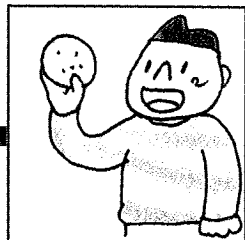
一年

圖5 留サ 訓みだり








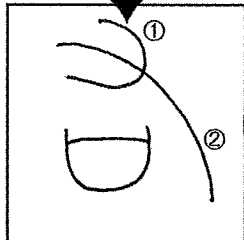


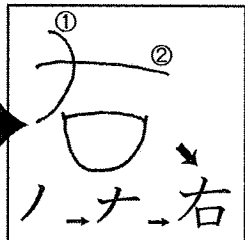
会意・形声



一年

圖5 留ウ・ユウ 訓みだぎ





「左手」の形を表した「ナ」と、「大工」さんが使う物差しを表した「工」を組み合わせた字です。「物差しを使う時は左手に持つ」ということで、「左」を意味します。「ナ」については、「右」と「左」とでは、「右手」と「左手」の違いから、書き順が異なっています。中国では、「右」と「左」では、「左」のほうが位が下でしたが、日本では反対に「左」が上位でした。

熟語例
 左右Ⅱ「左と右」「回り」「かたわら」の意味
 左遷Ⅱ「左に遷る」の意味で、「位や役目が格下げになる」ことをいう

同時に覚えるとよい字
 「差」は、「美」の意味の「羊」と、「左」を組み合わせた字です。左手で書いたり、作ったりしたのは、右手でそうした場合と比べて、美しさに違いがあることから、その違いを「差」という字で表したものです。熟語例Ⅱ大差、時差

「右手」の形を表した「ナ」と、「口」を組み合わせた字です。「食べものを「口」に運ぶ手」つまり「右手」のことで、「右」を意味します。「ナ」の成り立ちは、解字を見るとわかるように、「右」と「左」とでは異なり、書き順が違ってきます。中国では、「右」と「左」では、「右」のほうが位が上でしたから、「位が上」「優れている」という意味に使われます。

熟語例
 右腕Ⅱ右の腕。また、いちばん頼りになる人
 座右Ⅱ座席の右。また、「身近」の意味

同時に覚えるとよい字
 「若」は、「右」と、「草」の形を表した「艹」を組み合わせた字です。「右手でつみ取る草」、つまり「若菜」を表したのですが、今では、単に「若い」という意味に使われています。熟語例Ⅱ若手、老若